

倶多楽の火山活動解説資料（平成 22 年 6 月）

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴煙及び熱活動（図 2）

日和山の噴煙の高さは火口縁上概ね 50m 以下で、噴煙活動は低調に経過しました。

2007 年 5 月 3 日から大正地獄で発生している泥混じりの熱湯の噴出は、その後も消長を繰り返しながら継続しています（登別市による）。この現象は局所的なものであり、火山活動の活発化に直接つながるものではないと考えられます。

・ 地震活動（図 3）

広域ネットによる観測では、倶多楽付近を震源とする地震は少ない状態で経過しました。

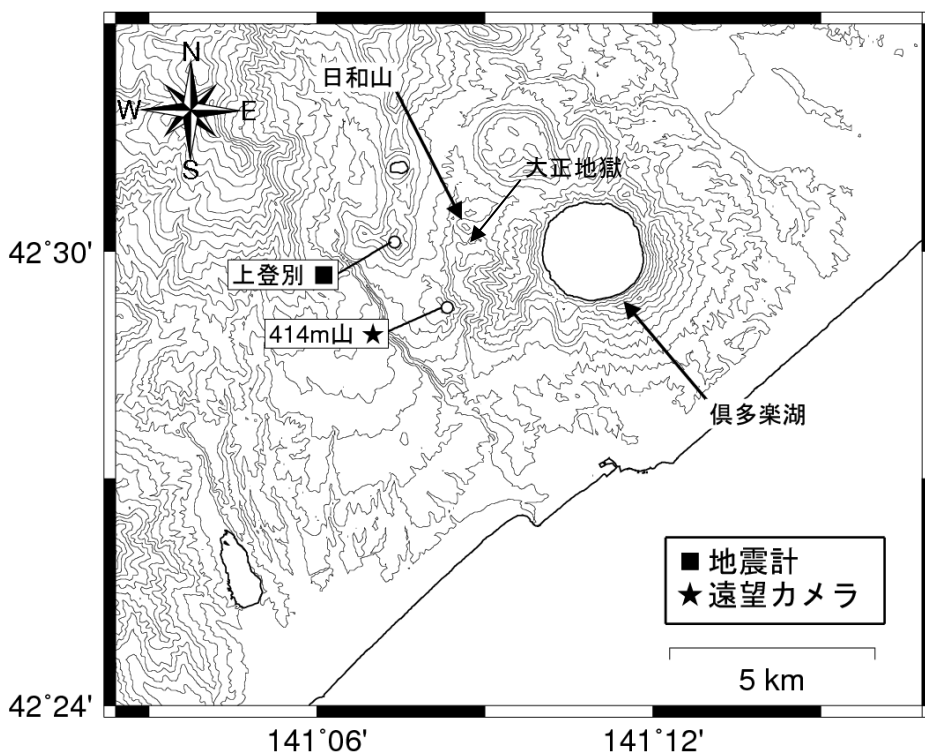


図 1 倶多楽 観測点配置図

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 22 年 7 月分）は平成 22 年 8 月 5 日に発表する予定です。

※ 資料は気象庁のほか、北海道大学、独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平 20 業使、第 385 号）。

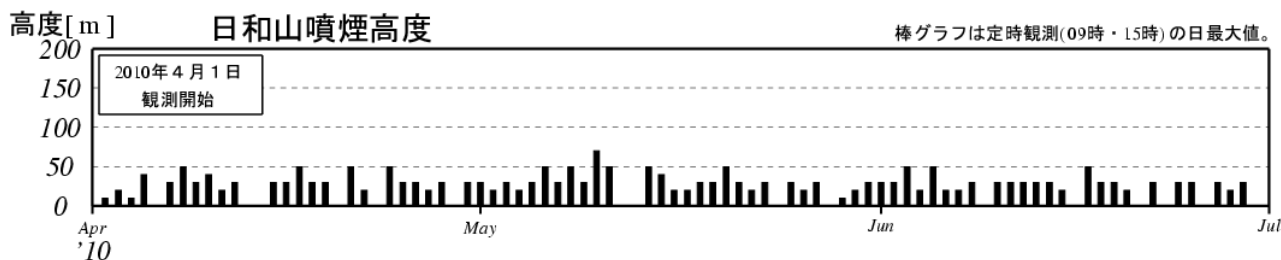


図2 倶多楽 日和山噴煙高度グラフ (2010年4月～6月)

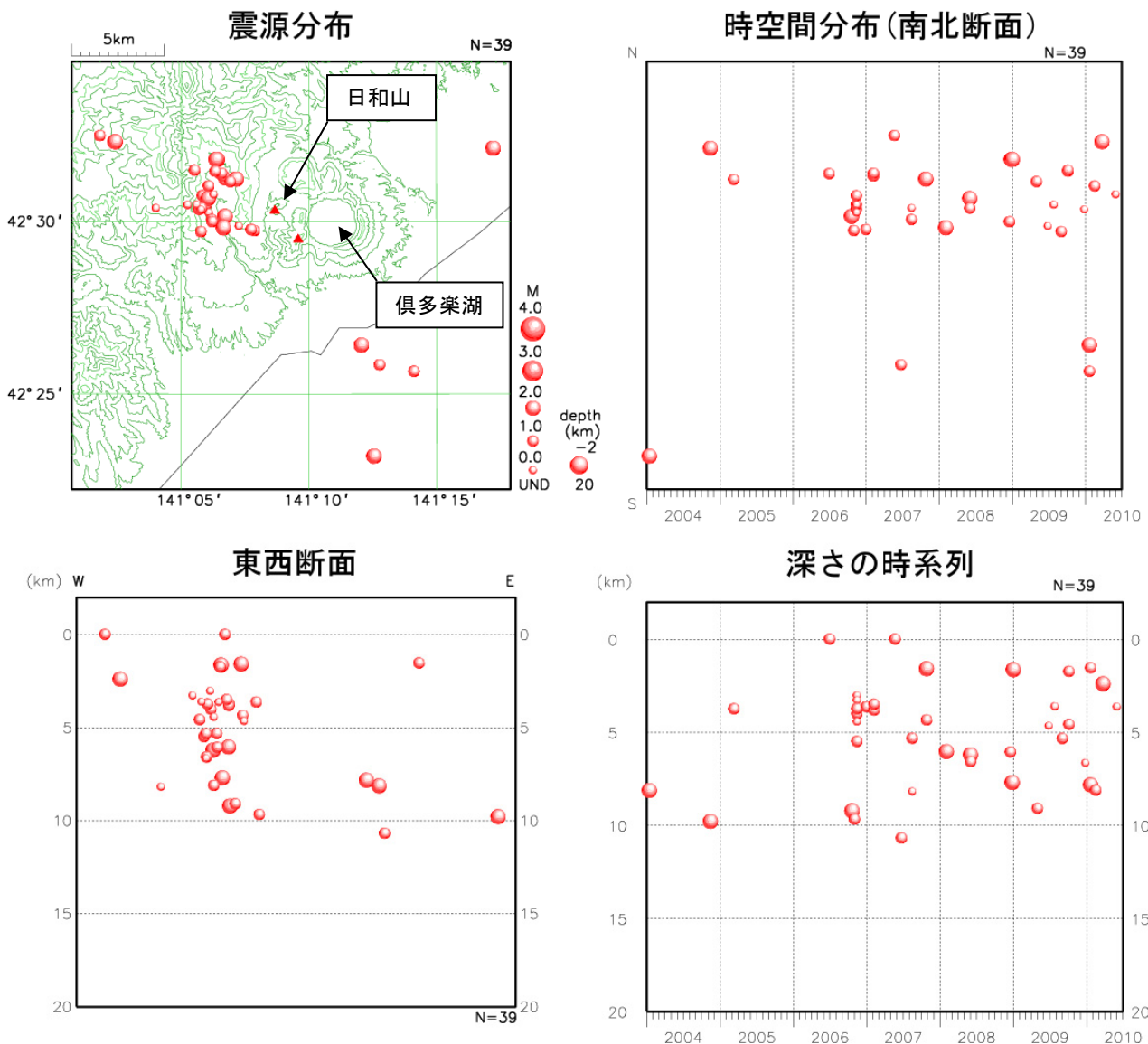


図3 広域ネットによる倶多楽周辺の地震活動(2004年1月～2010年6月)

マグニチュード(M)は地震の規模を表します。資料中の震源要素は一部暫定値で、後日変更することがあります。

- ・広域ネットによる観測では、倶多楽付近を震源とする地震は少ない状態で経過しました。

※地震観測点上登別は2009年9月5日以降機器障害のため欠測しています。このため地震回数表、月回数グラフは掲載していません。